

市議会

瀬川健則氏を議長に再選 工藤直道氏が新副議長に

市議会は4月25日、第2回臨時会を市議会議場で開き、議長に瀬川健則氏（65）＝新生会＝を再選、副議長に工藤

直道氏（53）＝市政クラブ＝を新たに選出しました。本来、正副議長の任期は4年ですが、3月の市議会議員



4月25日、市議会議場で開かれた第2回臨時会

全員協議会で、常任委員会の任期に合わせ、中間に当たたる2年目の終わりに評価を受けるといふ申し合わせに基づき、同日、瀬川議長と高橋光幸副議長が辞職願を提出。これにより、正副議長選が、全議員24人による単記無記名投票で行われました。その結果、議長選は瀬川氏13票、無効11票、副議長選は、工藤直道氏13票、高橋守氏（八起会）10票、無効1票となりました。

各常任委員会などの構成は左のページのとおりです。

なお、議会広報特別委員会以外の委員会の正副委員長については、現在の任期が満了する5月11日以降に決定される予定です。



工藤直道 副議長



瀬川健則 議長

各常任委員会などの委員構成

総務常任委員会	工藤 直道 高橋喜代春	北口 和男 大森 力男	高橋 光幸	大和田順一	高橋 守
教育民生常任委員会	米田 定男 田中榮司夫	三浦 侃 工藤 剛	関 善次郎 渡辺 義光	小笠原壽男	伊藤 一彦
産業建設常任委員会	松浦 博幸 遠藤 公雄	高橋 悦郎 渡邊 正	田村 孝 立花 安文	小野寺昭一	古川 津好

※ 常任委員会は、審議を効率的に行うために設置されてます。

議会運営委員会	工藤 直道	米田 定男	関 善次郎	伊藤 一彦	高橋 守	田村 孝
---------	-------	-------	-------	-------	------	------

※ 議会運営委員会は、議会運営に関わることを審議・決定します。（議長、副議長はオブザーバー）

議会広報特別委員会	◎高橋 悦郎	○高橋喜代春	小野寺昭一	古川 津好	渡辺 義光	立花 安文
-----------	--------	--------	-------	-------	-------	-------

※ 議会広報特別委員会は、議会広報の編集を行います。（◎は委員長、○は副委員長）

盛岡地区広域消防組合議会議員	大和田順一			
盛岡北部行政事務組合議会議員	三浦 侃 遠藤 公雄	伊藤 一彦 渡辺 義光	田中榮司夫	
岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員	関 善次郎			

農業委員（議会推薦）	渡邊 正
監査委員（議会選出）	遠藤 公雄

会派構成（○は代表）

新生会（しんせいかい）	5人	○田村 孝	瀬川 健則	松浦 博幸	渡辺 義光	大森 力男
市政クラブ（しせいくらぶ）	5人	○工藤 直道	大和田順一	田中榮司夫	工藤 剛	立花 安文
八起会（はつきかい）	4人	○高橋 守	三浦 侃	小笠原壽男	小野寺昭一	
自由クラブ（じゆうくらぶ）	3人	○関 善次郎	遠藤 公雄	高橋喜代春		
緑松会（りょくしょうかい）	3人	○伊藤 一彦	高橋 光幸	古川 津好		
無会派	4人	米田 定男（日本共産党） 北口 和男（公明党） 渡邊 正	高橋 悦郎（日本共産党）			

※ 会派とは、基本的政策が一致する議員の団体のことをいい、本市議会では原則として3人以上の議員で構成することとしています。

西根病院に新しい医師2人が着任

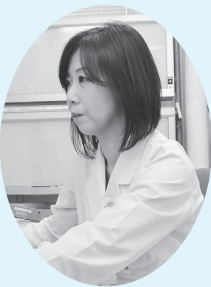
国保西根病院に4月1日から、2人の新しい内科医師が着任しました。これで、西根病院の内科医師は3人態勢となり、より一層の医療サービスを提供できるようになりました。

■足澤 美樹 内科長

昭和45年盛岡市生まれ。岩手医科大学医学部卒

■館道 芳徳 内科医長

昭和52年矢巾町生まれ。山形大学医学部、岩手医科大学大学院卒



「医療の道を目指すことになったのは、身近な親が医師で、その姿を見てきたからです。」

「医療の道を目指すことになったのは、身近な親が医師で、その姿を見てきたからです。」

「医療の道を目指すことになったのは、身近な親が医師で、その姿を見てきたからです。」

「医療の道を目指すことになったのは、身近な親が医師で、その姿を見てきたからです。」

漆器職人を目指す新研修生が入所

市安代漆工技術研究センターの入所式が、4月6日、安代総合支所で行われました。

本年度入所の研修生は、市内大更出身の豊原智美さん（36）と名古屋出身の樋元やよいさん（36）。偶然にもまったく同じ生年月日の2人ですが、「漆器を一つの道として追求したい」と語る豊原さんに対し、樋元さんは「漆器にはもっと可能性があるはず。日常品への応用を考え、海外への展開を見据えていきたい」と商業ベースでの確立も視野に入っていました。

2人は、同センターで漆器職人の伝統技術を習得するため、2年間の研修を予定しています。



4月6日、入所式に臨む豊原智美さん(左)、樋元やよいさん

友好都市の名護市から職員が派遣

4月1日から、沖縄県名護市職員の兼次奈緒子さんが、商工観光課で勤務しています。



これは、本市から沿岸の2市町へ職員を3人派遣していることに伴い、友好都市である名護市から、被災地の後方支援として配属していただいたものです。なお、配属は、来年3月末までの予定です。